

第145回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

日 時 令和4年8月4日（木） 16:30～
場 所 県庁北庁舎2階 危機管理センター
災害対策本部会議室

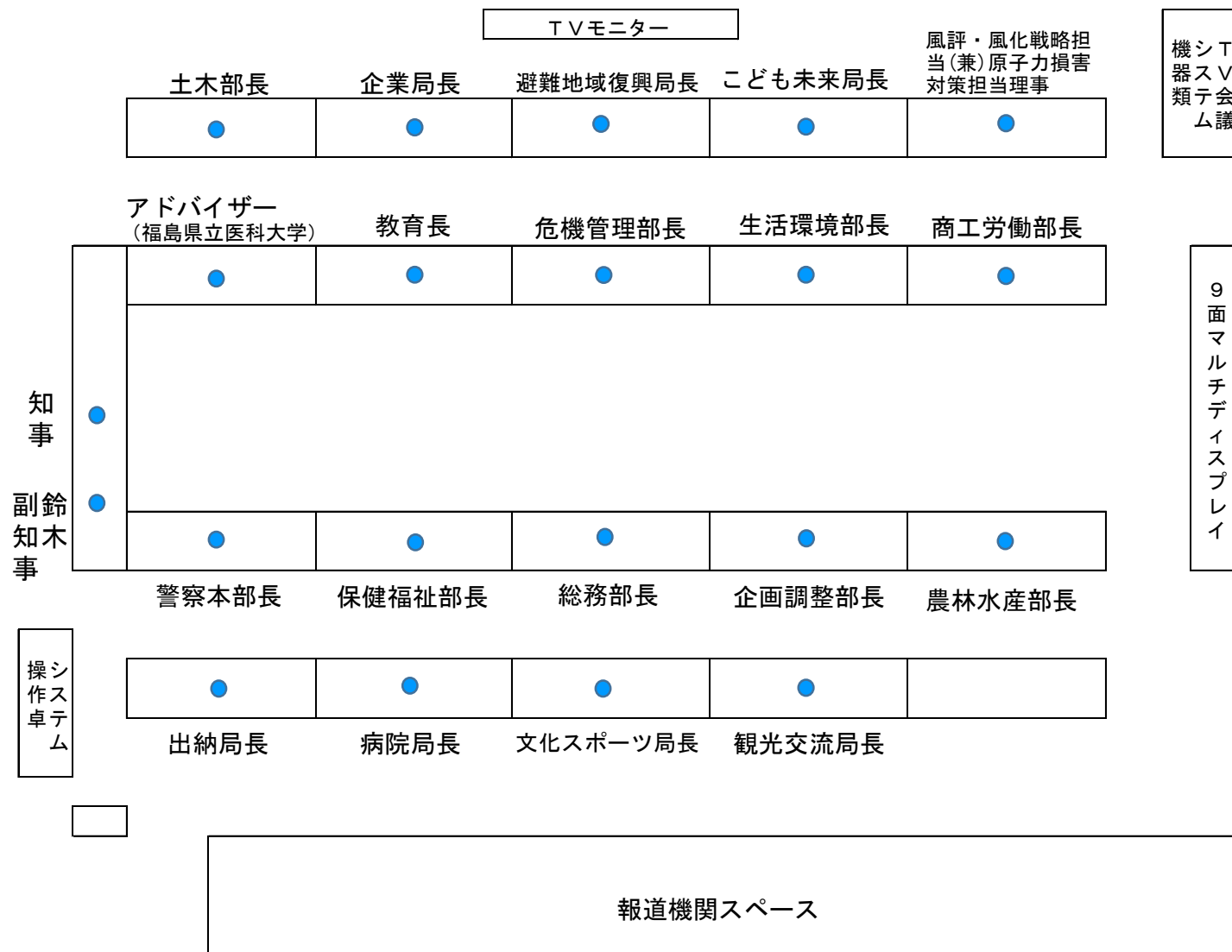
1 議 事

- (1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について
- (2) 新型コロナワクチンの接種状況等について
- (3) その他

2 資 料

- 【資料1】 福島県における新型コロナウイルス感染者の状況等について
- 【資料2】 国内における最近の新規陽性者発生状況について
- 【資料3】 医療機関以外での検査について
- 【資料4】 新型コロナワクチンの接種状況等について
- 【資料5】 医療を守る対策の強化について
- 【資料6】 福島県感染拡大警報
- 【資料7】 感染拡大防止のための基本対策
- 【資料8】 新型コロナウイルス感染症対策について

福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議 座席表



第145回 福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議 名簿

【本部員】

	所属名	職名	氏名	備考
1		知 事	内 堀 雅 雄	
2		副 知 事	鈴 木 正 晃	
3		副 知 事	井 出 孝 利	欠席
4	総 務 部	部 長	安 齋 浩 記	
5	危 機 管 理 部	部 長	渡 辺 仁	
6	企 画 調 整 部	部 長	橘 清 司	
7	避 難 地 域 復 興 局	局 長	松 本 雅 昭	
8	文 化 ス ポ ー ツ 局	局 長	永 田 嗣 昭	
9	生 活 環 境 部	部 長	久 保 克 昌	
10	保 健 福 祉 部	部 長	國 分 守	
11	こ ど も 未 来 局	局 長	鈴 木 竜 次	
12	商 工 労 働 部	部 長	小 笠 原 敦 子	
13	観 光 交 流 局	局 長	市 村 尊 広	
14	農 林 水 産 部	部 長	小 柴 宏 幸	
15	土 木 部	部 長	曳 地 利 光	
16	出 納 局	局 長	金 子 市 夫	
17	風評・風化戦略担当(兼) 原子力損害対策担当	理 事	白 石 孝 之	
18	企 業 局	局 長	山 寺 賢 一	
19	病 院 局	局 長	三 浦 爾	
20	教 育 委 員 会	教 育 長	大 沼 博 文	
21	警 察 本 部	本 部 長	児 嶋 洋 平	
○	福 島 県 感 染 症 対 策 ア ド バ イ ザ ー	県立医科大学 教 授	金 光 敬 二	

【事務局】

	所属名	職名	氏名	備考
1	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 本 部	事 務 局 長	伊 藤 賢 一	
2	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 本 部	総 括 担 当 次 長	菅 野 俊 彦	
3	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 本 部	次 長	半 澤 浩 司	
4	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 本 部	総 括 班 長	郡 司 博 道	
5	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 本 部	総 括 班 長 (兼)医療対 策 班 長	金 成 由 美 子	
6	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 本 部	医 療 対 策 班 長	玉 川 啓	

福島県における新型コロナウイルス感染者の状況等について

令和4年8月3日現在

【感染者の状況】

○陽性者数と内訳

陽性者数	93,991人
（うち死亡者数	232人）

(性別)

男性	47,350人
女性	46,641人

(年代別)

10歳未満	16,486人
10代	15,041人
20代	12,634人
30代	14,951人
40代	13,493人
50代	8,306人
60代	6,088人
70代	3,604人
80代	2,237人
90歳以上	1,141人
その他	10人

○療養者の状況

入院者数	370人
（うち重症者数	2人）
宿泊療養施設入所者数	373人
自宅療養者数	14,710人
療養者数（合計）	15,453人

※7月28日判明分より「療養先調整中の人数」は「自宅療養者数」に含まれている。

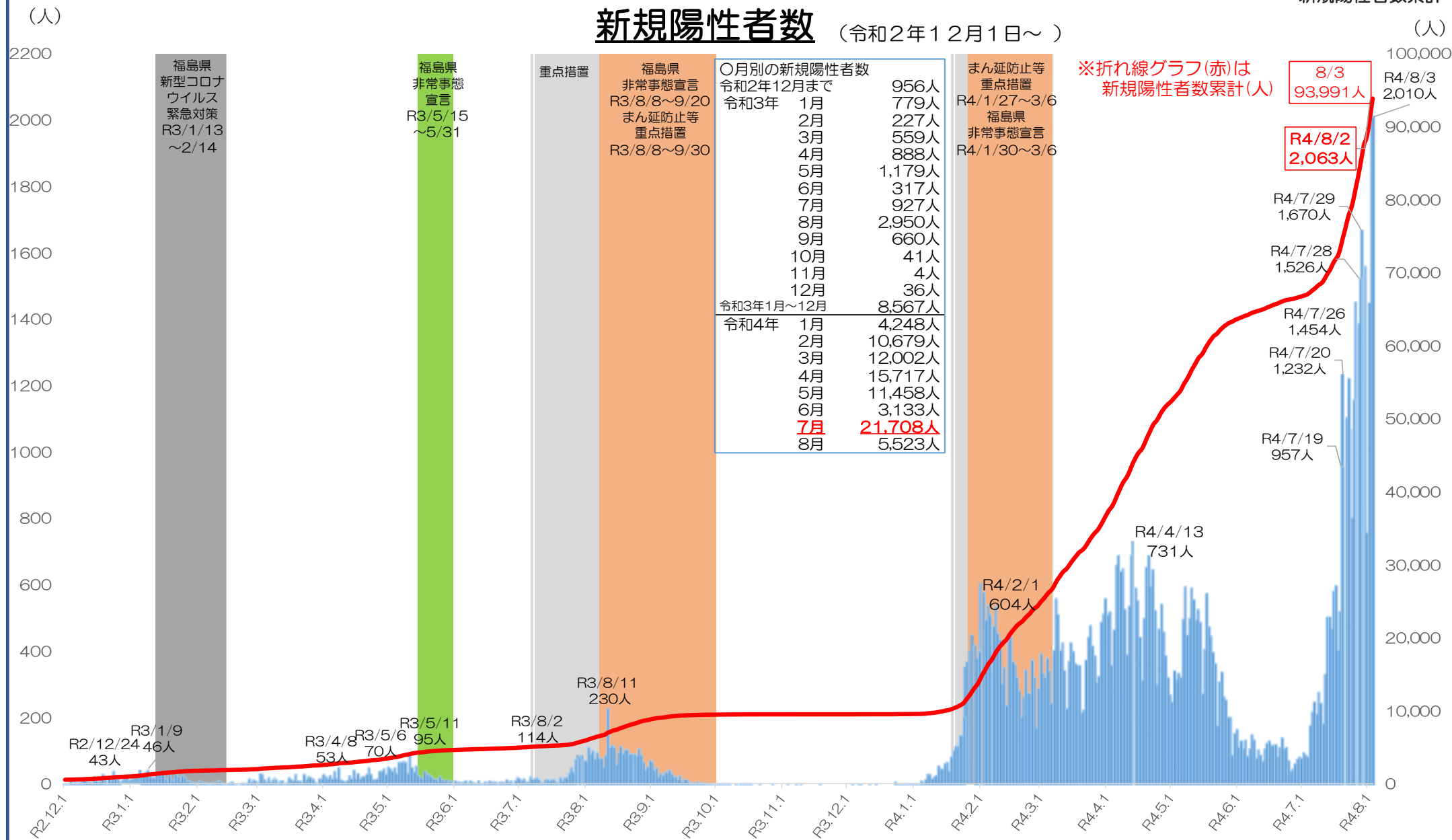
○退院・退所者等数（死亡者含む） 78,538人

【病床等の状況】

即応病床数	728床→745床
確保病床数（通常時最大）	749床
（緊急時最大）	821床
（うち重症者用病床数	45床
病床使用率	49.4%）
（うち重症者用病床使用率	4.4%
宿泊療養確保室数（稼働室数）	1,547室）

新規陽性者数 (令和2年12月1日～)

新規陽性者数累計

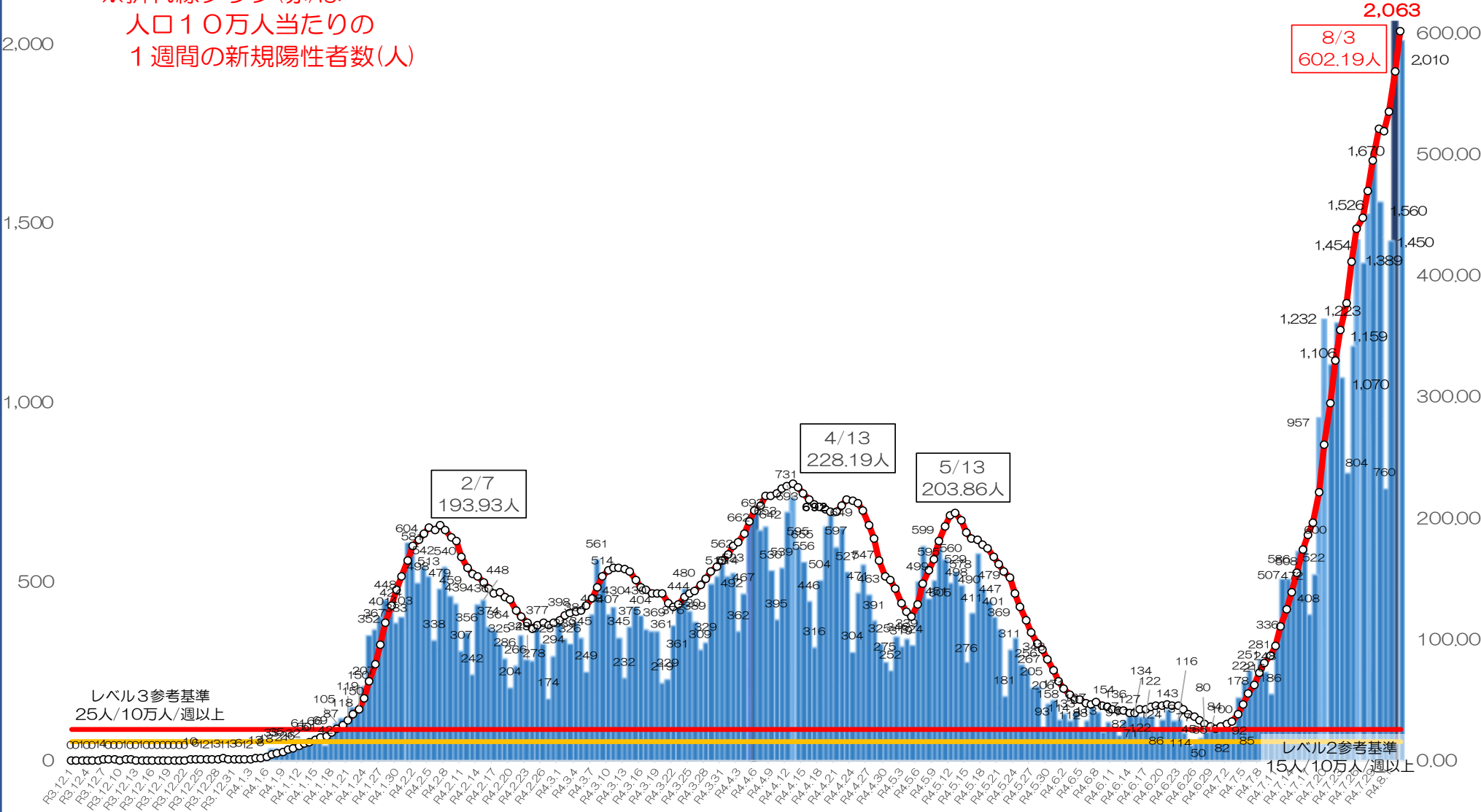


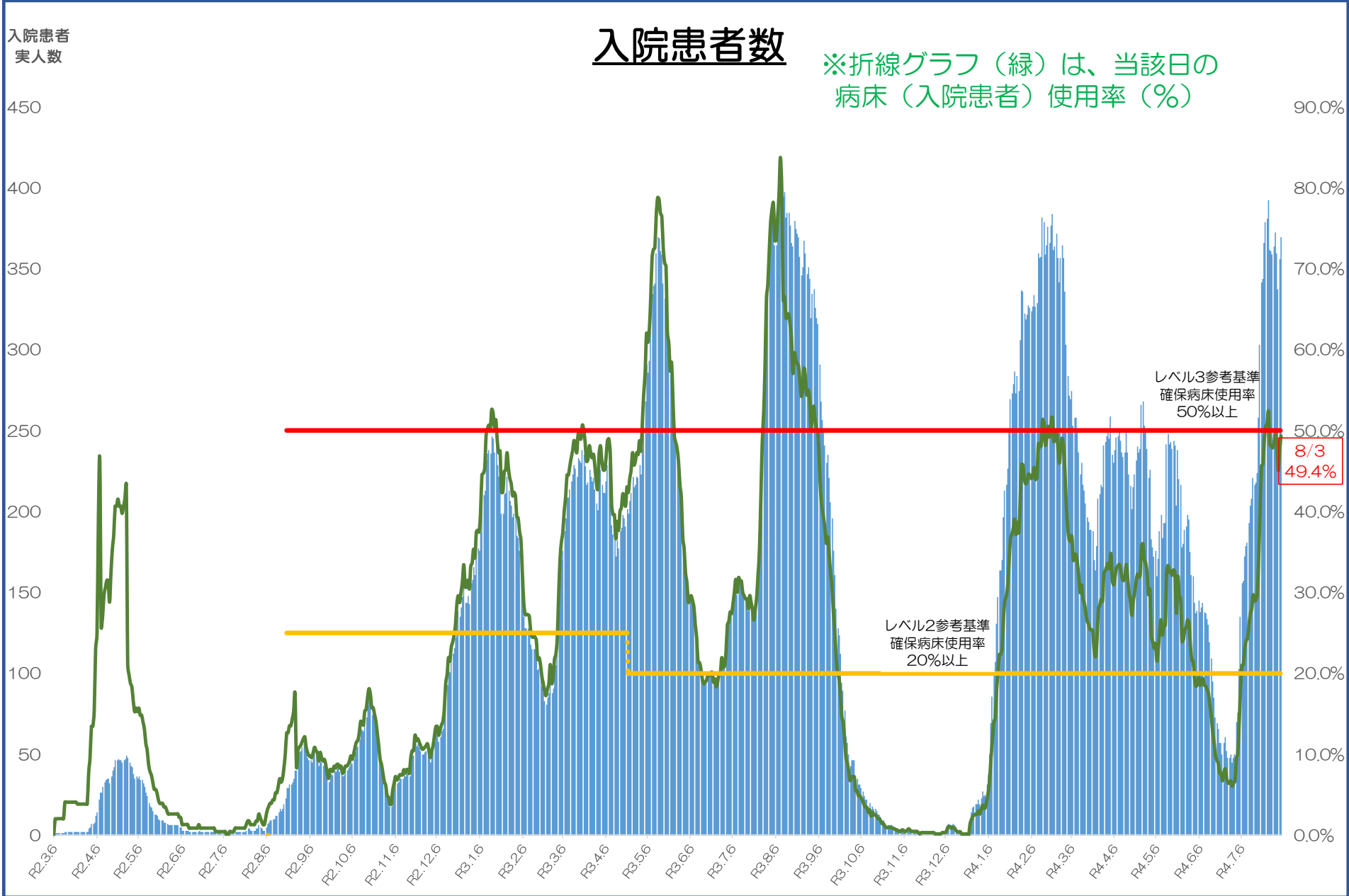
新規陽性者人数

12月以降の新規陽性者数

(人)

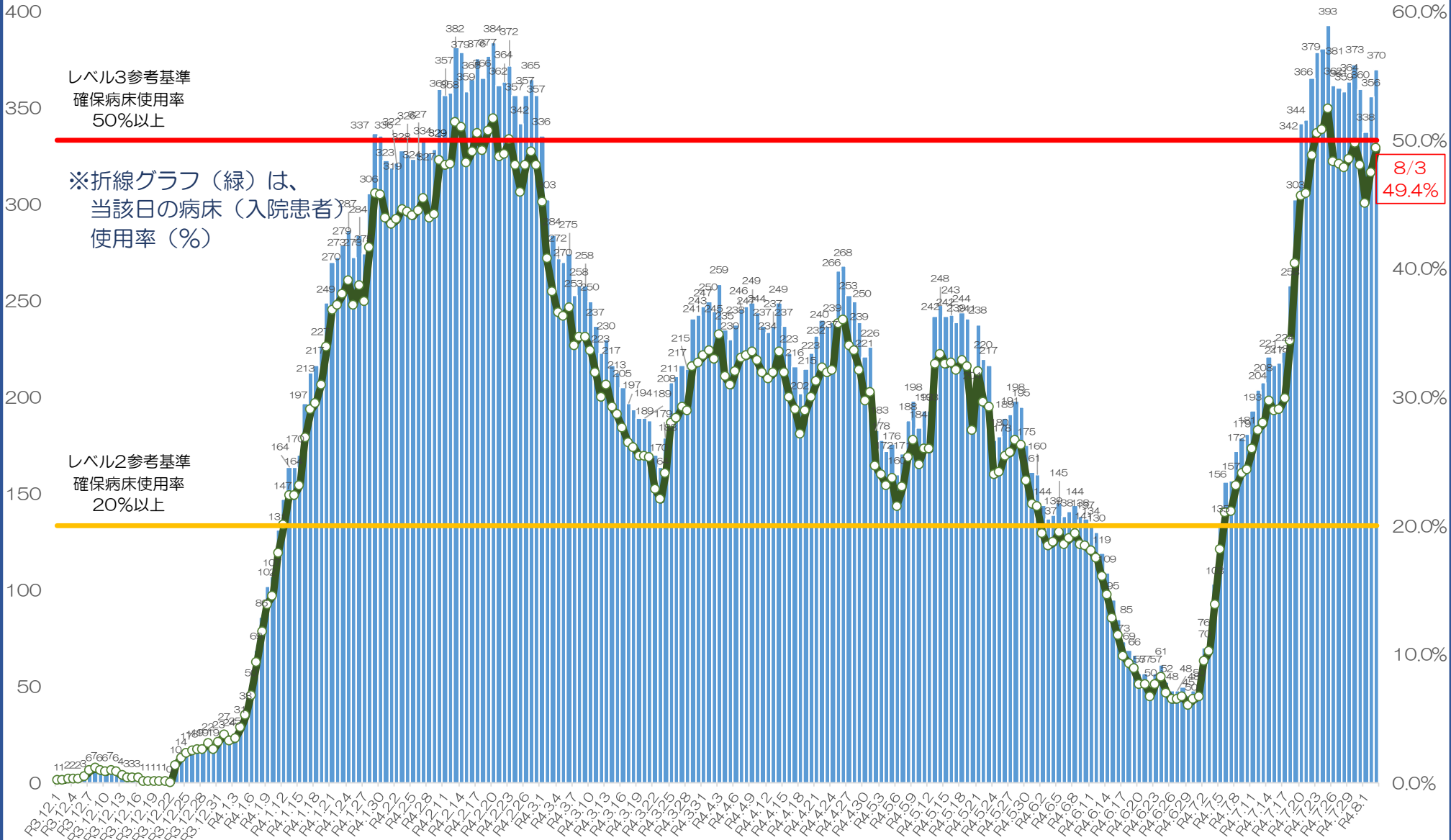
※折れ線グラフ(赤)は
人口10万人当たりの
1週間の新規陽性者数(人)





12月以降の病床使用率及び入院患者数

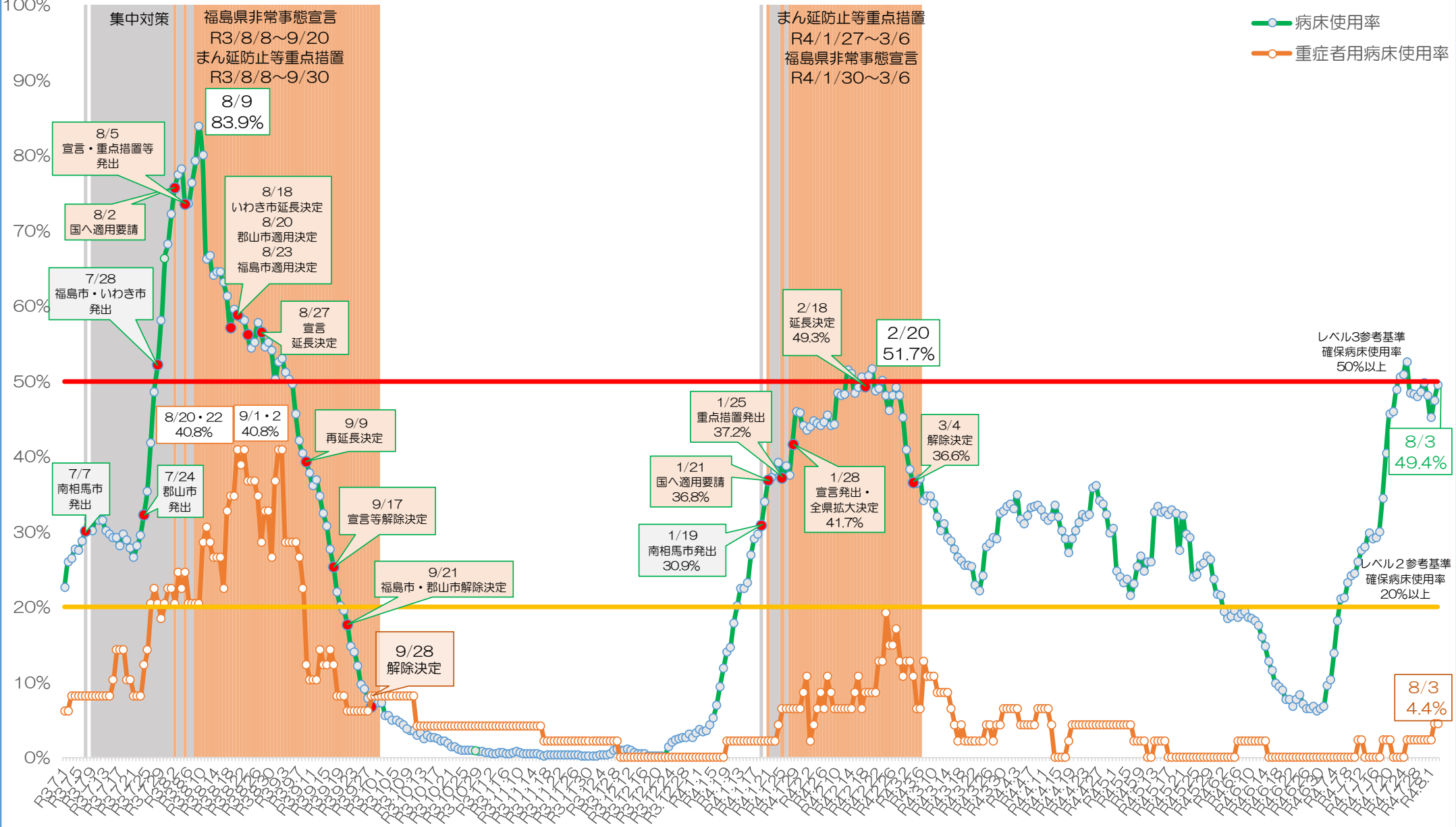
入院患者
実人数



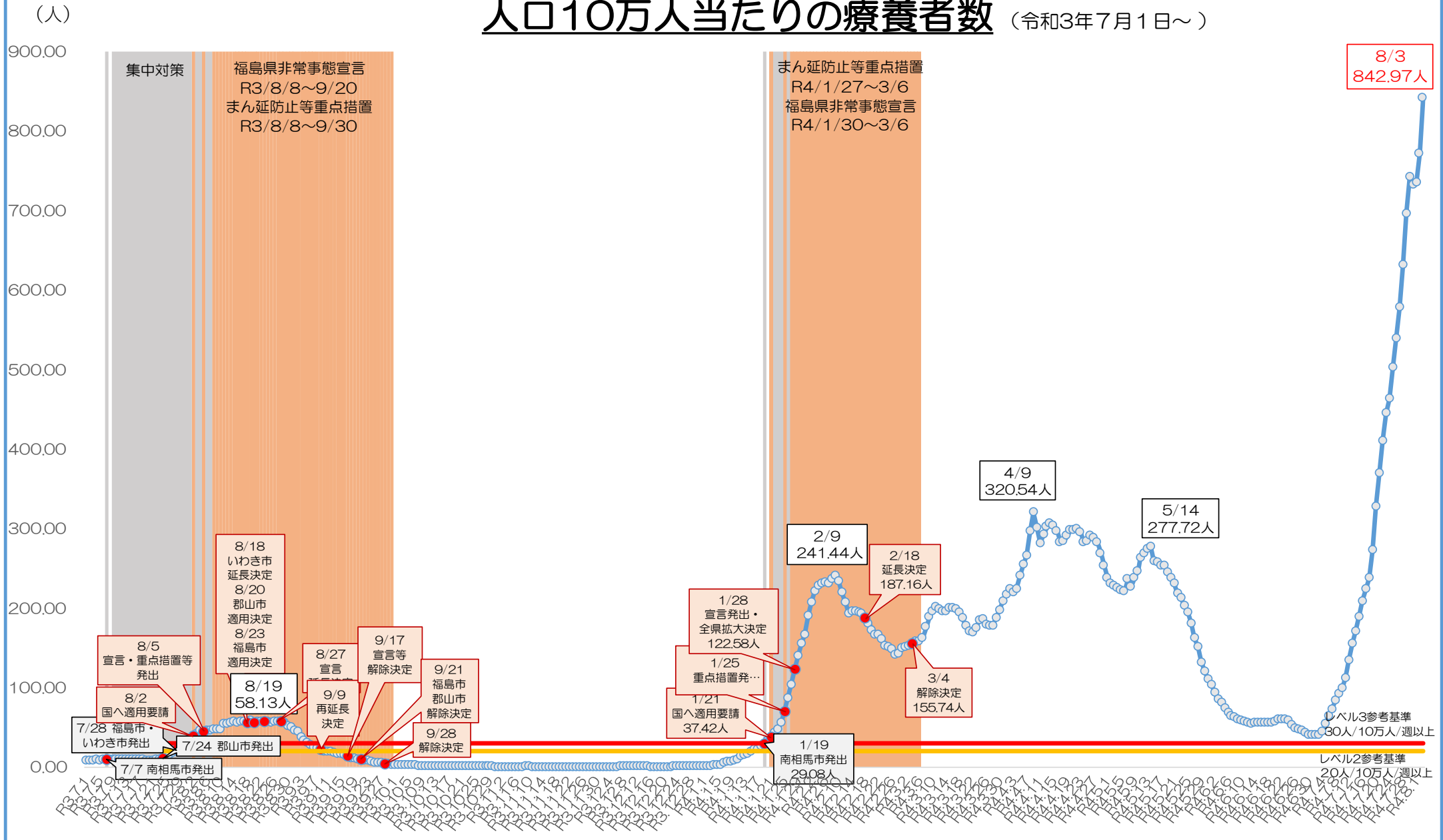
8/3
49.4%

病床使用率及び重症者用病床使用率

(令和3年7月1日～)



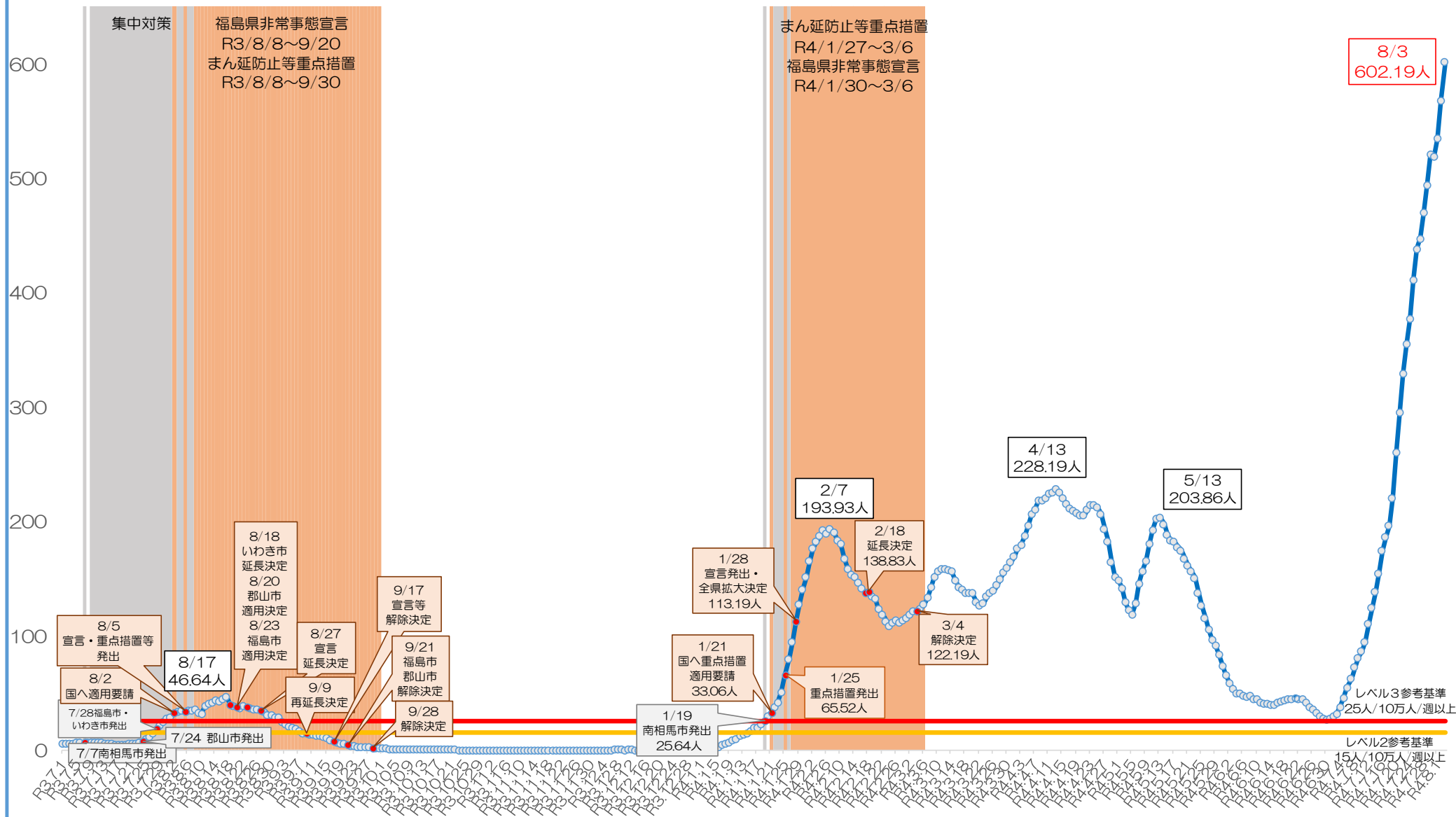
人口10万人当たりの療養者数 (令和3年7月1日～)



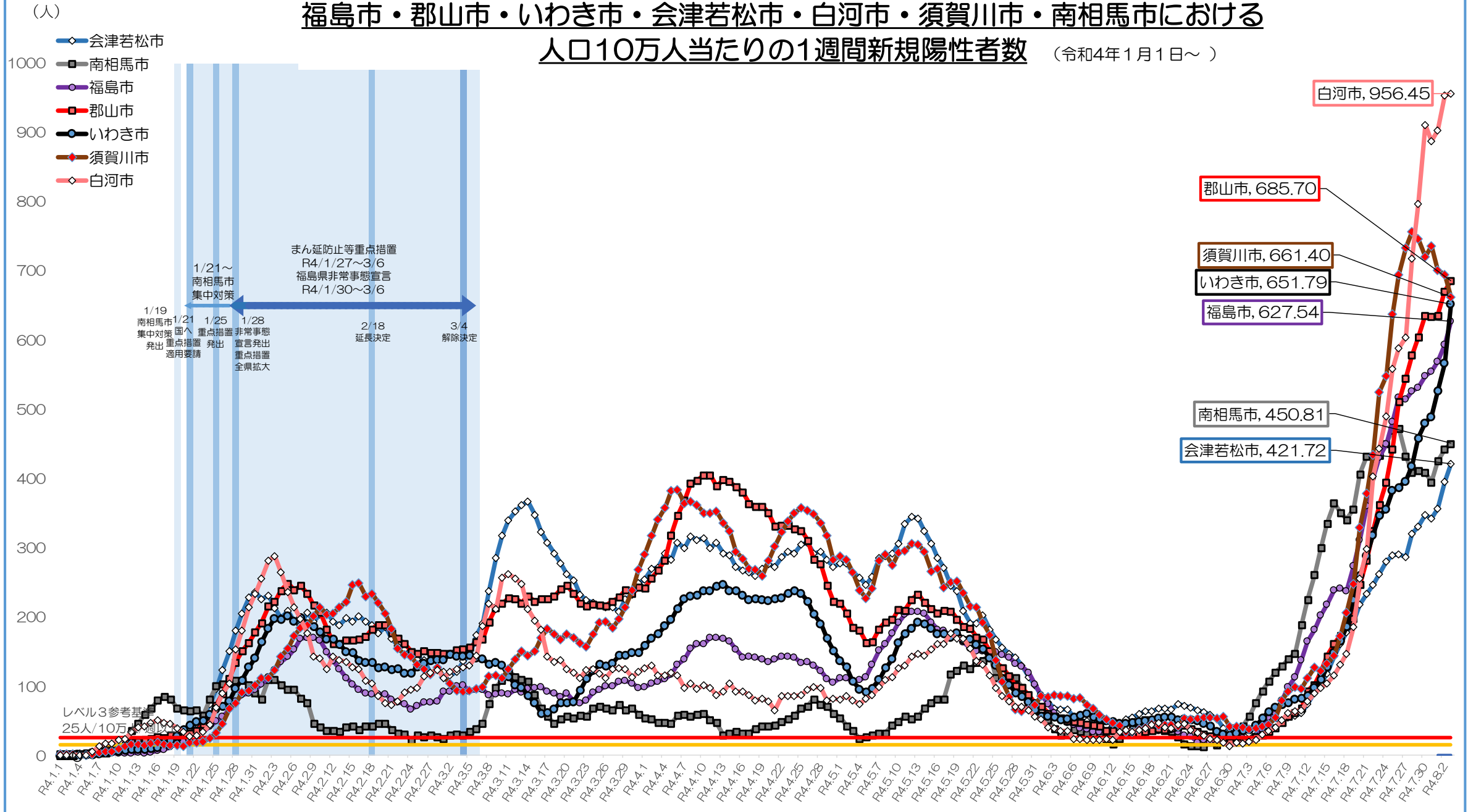
(人)

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数

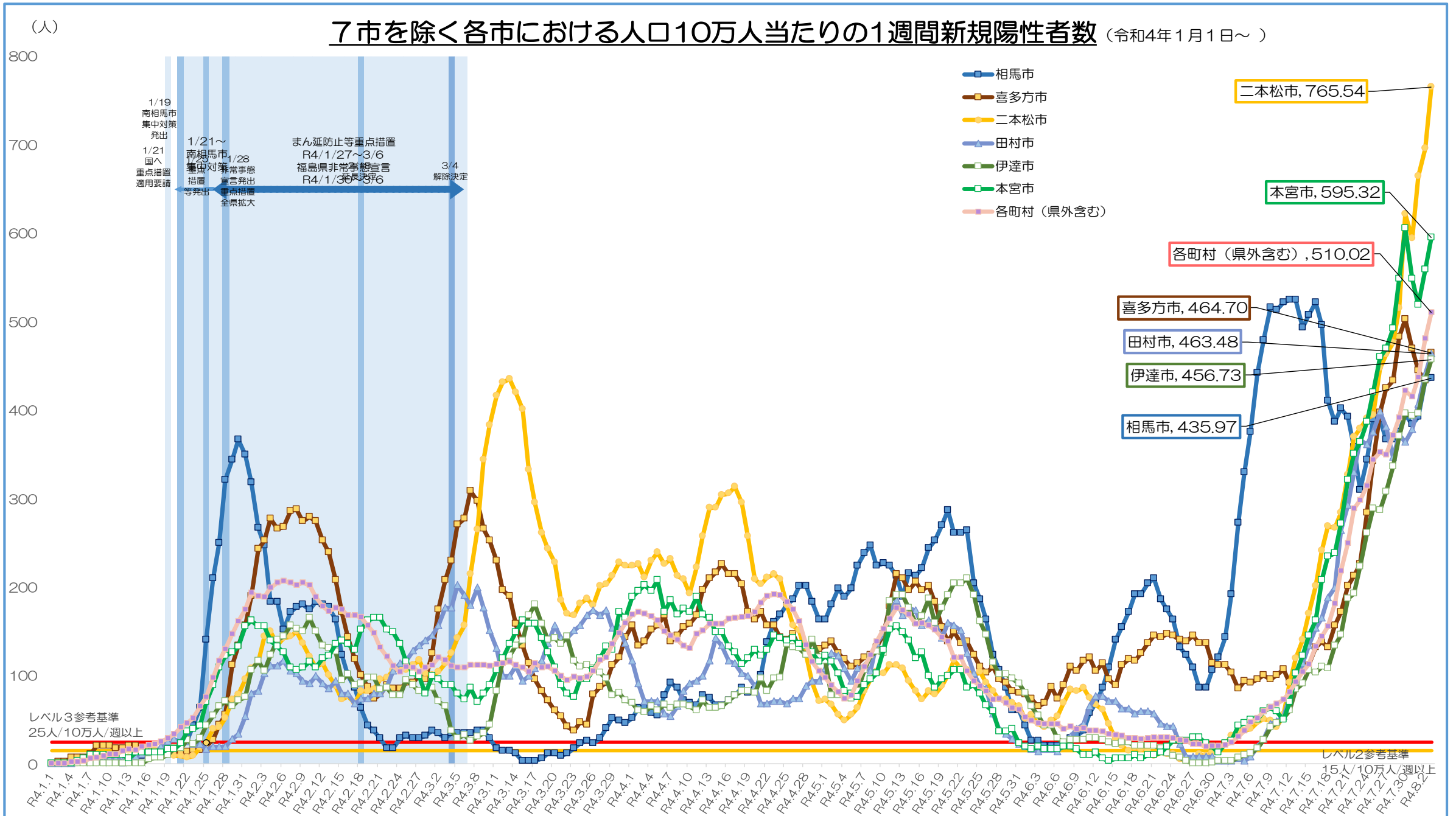
(令和3年7月1日～)



福島市・郡山市・いわき市・会津若松市・白河市・須賀川市・南相馬市における 人口10万人当たりの1週間新規陽性者数 (令和4年1月1日～)



7市を除く各市における人口10万人当たりの1週間新規陽性者数 (令和4年1月1日～)



【参考】
レベル判断の参考とするモニタリング指標

	医療提供体制等の負荷				感染の状況			
	①病床の逼迫具合				②療養者数 〔10万人当たり〕	③PCR 陽性率	④新規陽性者数 〔10万人当たり ／1週間〕	⑤感染経路 不明割合 (1週間)
	入院医療			重症者用病床				
	確保病床の 使用率	予測ツールによる 病床数の推計 〔3週間後の 必要病床数〕	入院率	確保病床の 使用率				
本県の現状 (直近1週間) (7/28~8/3)	49.4% 〔 $\frac{370}{749}$ 床〕	(参考) 215.0% 〔 $\frac{1,610}{749}$ 床〕	(参考) 2.4% 〔 $\frac{370}{15,453}$ 人〕	4.4% 〔 $\frac{2}{45}$ 床〕	842.97人 〔15,453人〕	(参考) 42.5% 〔 $\frac{11,000}{25,855}$ 件〕	(参考) 602.19人 〔11,039人〕	算出不能
本県の現状 (先週1週間) (7/21~7/27)	48.2% 〔 $\frac{361}{749}$ 床〕	(参考) 256.1% 〔 $\frac{1,918}{749}$ 床〕	(参考) 3.4% 〔 $\frac{361}{10,600}$ 人〕	2.2% 〔 $\frac{1}{45}$ 床〕	578.24人 〔10,600人〕	(参考) 34.4% 〔 $\frac{8,144}{23,657}$ 件〕	447.59人 〔8,205人〕	72.7% 〔 $\frac{5,963}{8,205}$ 人〕

※カッコ内は福島県の数値

レベル2の 参考基準	20%以上 (150/749床以上)	(参考) (50%以上) (375/749床以上)	40%以下 (入院者数/療養者数)	20%以上 (9/45床以上)	20人以上 (367人以上)	5%以上	15人以上 (275人以上)	50%以上 ※直近1週間の 新規陽性者数が 100名以上の場合
レベル3の 参考基準	50%以上 (375/749床以上)	(参考) (80%以上) (600/749床以上)	(参考) (25%以下) (入院者数/療養者数)	50%以上 (23/45床以上)	30人以上 (550人以上)	(参考) (10%以上)	(参考) (25人以上) (459人以上)	(参考) 50%以上 ※直近1週間の 新規陽性者数が 100名以上の場合

レベル1からレベル2への移行基準

→レベル2の指標が1つでも該当する場合にレベル2に引き上げを検討する。

レベル2からレベル3への移行基準

→レベル3の指標が1つでも該当する場合にレベル3に引き上げを検討する。
なお、レベル判断にあたっては、病床のひっ迫具合を重視する。

→ これらをベースに総合的に判断する。

※予測ツールによる病床数の推計（3週間後の必要病床数）については、国の指標の取り扱いにあわせ、参考指標とした。（令和4年1月14日）

国内における最近の新規陽性者発生状況について

都道府県別新規陽性者数（上位5都道府県）

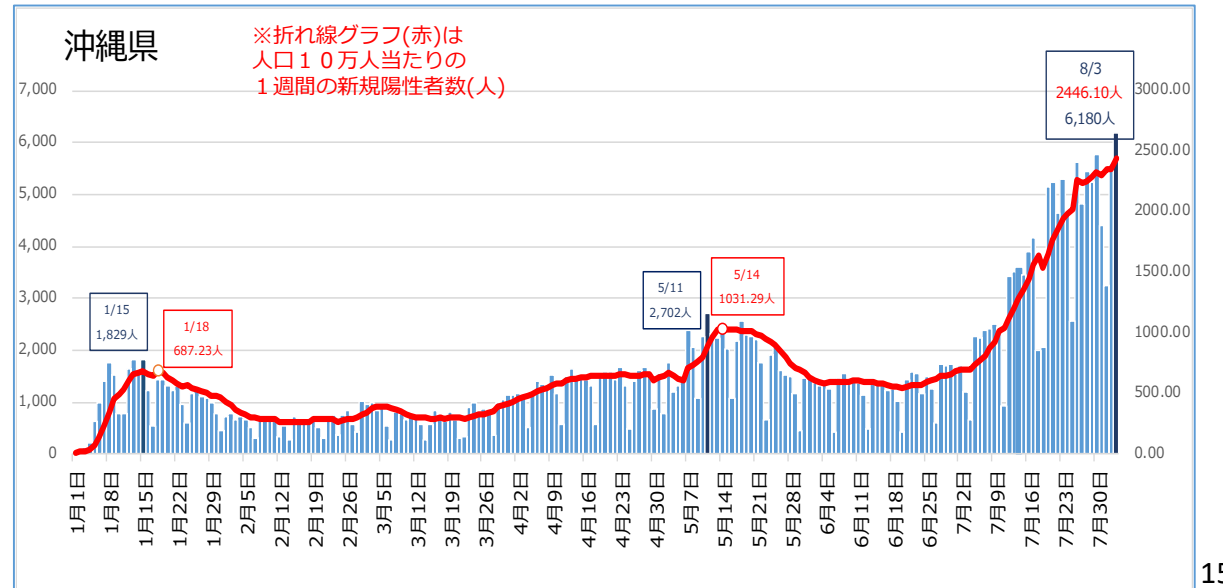
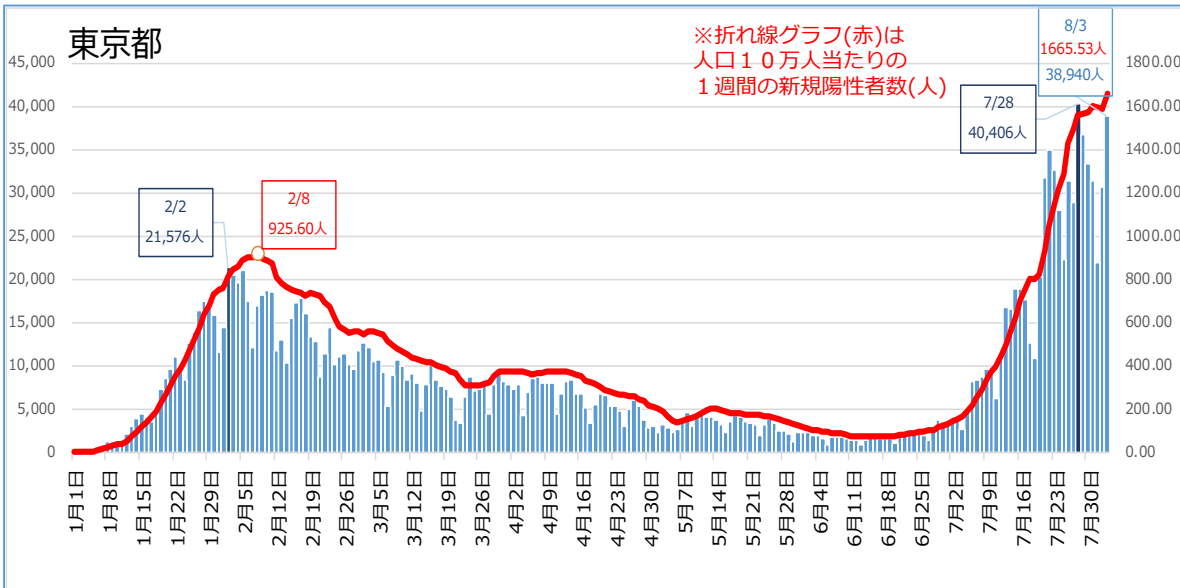
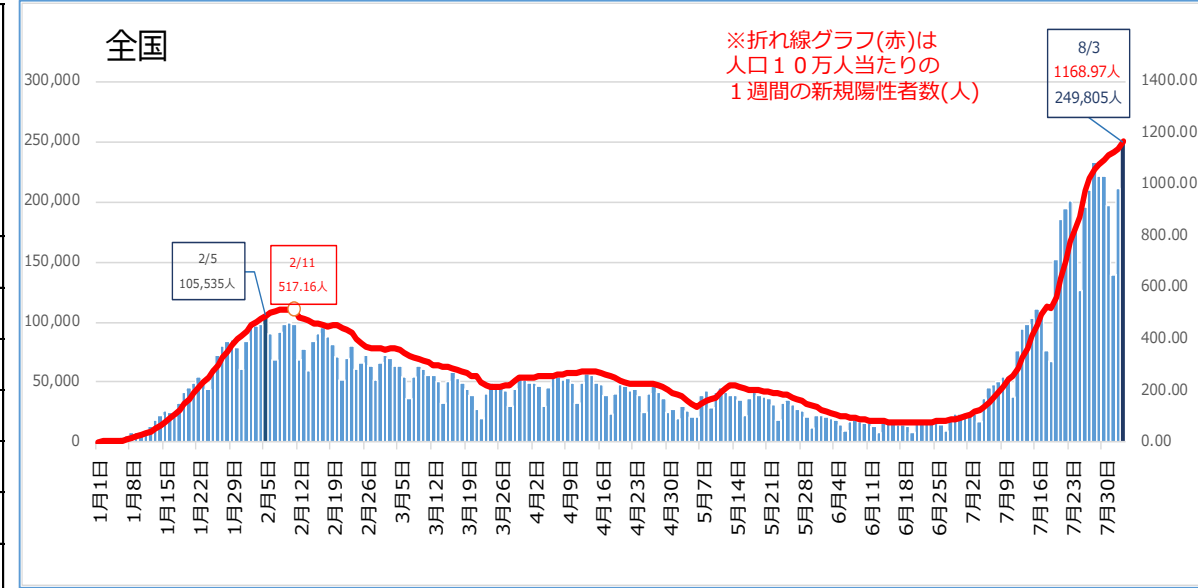
人口10万人当たりの直近1週間の
新規陽性者数（上位5都道府県）

順位	都道府県名	8/3公表分 (7/27~8/2)の 新規陽性者数 (直近1週間)	(参考) 7/3~8/2の 新規陽性者数
1	東京都	233,967	648,750
2	大阪府	141,425	406,736
3	神奈川県	101,296	283,560
4	愛知県	96,537	261,177
5	福岡県	84,941	233,713
32	福島県	10,419	25,030
	全国計	1,474,615	3,991,542

(単位：人)

順位	都道府県名	8/3公表分 (7/27~8/2)の 10万人当たり 新規陽性者数 (直近1週間)
1	沖縄県	2,446.10
2	東京都	1,665.53
3	福岡県	1,654.09
4	大阪府	1,600.25
5	熊本県	1,487.77
45	福島県	568.37
	全国	1,168.97

(単位：人)



医療機関以外での検査について

資料3

事業種類	検査キット 配布センター (※)	無料検査				臨時検査拠点 (JR福島駅、郡山駅)
		感染拡大傾向時の 一般検査事業	ワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等 定着促進事業			
目的	医療機関の 負担軽減	感染不安	旅行・イベン ト参加等	高齢者・入院 者との接触	帰省など	一般検査、定着促進 事業を実施
ワクチン接種状況	不問	不問	3回未了	不問	対象者全員検 査として不問	
実施期間・感染状況	7/29～10/31	レベル2以上	感染状況に関わらず（～8月末まで）			8/6～8/16
検査方法	抗原定性	PCR等、 抗原定性	抗原定性	PCRも可	抗原定性	抗原定性
県民	無症状者	×	○	○	○	○
	濃厚接触者、 有症状者	○ (重症化リスクが 低い方)	×	×	×	×
県民以外	×	×	○	○	○	○
問い合わせ先	福島県新型コロナ 検査キット配 布センター TEL0120-941-546	福島県ワクチン・検査活用事務局コールセンター TEL 024-524-5530 検査申込みは県内207箇所の各事業者（薬局等）にお願いします				

※ 当初、1,500キット/日だったものを3,000キット/日に増やして対応中

新型コロナワクチンの接種状況等について

1 接種実績(累計) (令和4年8月3日時点)

	接種回数	全人口に対する 接種率	(うち5歳以上11歳以下)	
			接種回数	対象人口に対する 接種率
合計	4,709,851 回	-	79,095 回	-
うち1回目接種	1,602,643 回	86.1%	40,993 回	39.6%
うち2回目接種	1,583,502 回	85.0%	38,102 回	36.8%
うち3回目接種	1,300,063 回	69.8%	-	-
うち4回目接種	223,643 回	-	-	-
全人口 (または対象人口)		1,862,059 人		103,456 人

※ 人口は、令和3年1月1日現在の住民基本台帳データから推計している。

※ 4回目接種は、60歳以上の方の他、18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方、医療従事者・高齢者施設従事者等も対象とされているため、対象人口の把握が困難であることから、現時点において接種率は算出していない。

注1：1・2回目接種の接種回数は、「医療従事者」「高齢者施設従事者」のワクチン接種円滑化システム（V-SYS）の情報を集計したものと、ワクチン接種記録システム（VRS）の情報を集計したものを合算したものの。

注2：3・4回目の接種回数は、ワクチン接種記録システム（VRS）の情報を集計したものの。

【3回目接種の想定対象者に対する接種率】

8月末累計 約153.6万人 ⇨ 84.6%

※ 想定対象者は、2回目接種完了者全員が接種を希望すると仮定した場合の数を算定している。

【参考】首相官邸HPより抜粋

3回目接種の年齢階級別接種率(小児接種を除く)の実績

令和4年8月1日更新

	12歳～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上
全国	34.3%	48.0%	51.7%	60.4%	77.7%	83.8%	82.7%	91.0%	94.9%	95.0%	92.0%
福島県	48.7%	57.0%	60.2%	69.4%	80.1%	84.9%	86.3%	96.3%	92.1%	95.7%	95.0%

※実績は、VRS（本資料更新日の公表値）により集計 ※年齢階級不明は、接種記録から除いている

小児の1・2回目接種率の実績

令和4年8月1日公表

	5歳～11歳	
全国	1回目	19.8%
	2回目	18.2%

※実績は、VRSにより集計

新型コロナウイルスワクチン接種促進広報（期間：8月9日～9月30日）

ワクチン接種を促進するため、デジタル広報を実施します。

- メディア：Google、Yahoo、LINE、Instagram、Twitter)
- インパクトのあるバナー2種類から、ワクチン接種の県独自サイトへ導くもの。



1日でも早い接種を!

旅行や帰省の前に
新型コロナウイルスワクチン接種をご検討ください



考えてみませんか!?

新型コロナウイルスワクチンの
小児接種について



県が8月に実施する新型コロナワクチン接種

ノバックス社ワクチン接種(12歳以上：1回目・2回目接種、18歳以上：3回目接種)

①福島市

・NCVふくしまアリーナ(定員50人/日) ※福島市と共同運営
7日(日)・21日(日)・28日(日)〔10:00~11:45〕



②会津若松市

・竹田総合病院(定員60人/日)：2日(火)・16日(火)・23日(火)〔15:00~16:00〕

③郡山市

・星総合病院(定員20人/日)：5日(金)・12日(金)・19日(金)・26日(金)〔16:00~16:45〕
・郡山市健康振興財団(定員70人)：19日(金)〔14:00~16:15〕

※予約が定員に達したことから、8月19日に星総合病院で20人、郡山市健康振興財団で10人予約枠を追加。

④いわき市

いわきゆったり館(定員60人/日)：7日(日)・21日(日)・28日(日)〔11:00~11:30〕

予約方法

○県コールセンター(024-573-8002(9:00~19:00 土日・祝日を含む))、または県HPにて予約。

※NCVふくしまアリーナ実施分は、福島市民のみ福島市コールセンターまたは福島市HPからも予約可。

感染者数が急激に増加しており、感染対策の徹底が必要です。

新規陽性者数の推移（曜日別/日陽性者数）

令和4年8月3日現在							(単位：名)
日	月	火	水	木	金	土	
6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	
50 (58%)	65 (57%)	80 (56%)	84 (74%)	82 (71%)	100 (130%)	92 (204%)	
7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	
85 (170%)	178 (274%)	222 (278%)	251 (299%)	216 (263%)	281 (281%)	248 (270%)	
7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	
186 (219%)	336 (189%)	507 (228%)	508 (202%)	472 (219%)	586 (209%)	600 (242%)	
7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	
408 (219%)	522 (155%)	957 (189%)	1,232 (243%)	1,106 (234%)	1,223 (209%)	1,070 (178%)	
7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	
804 (197%)	1,159 (222%)	1,454 (152%)	1,389 (113%)	1,526 (138%)	1,670 (137%)	1,560 (146%)	
7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	
760 (95%)	1,450 (125%)	2,063 (142%)	2,010 (145%)				

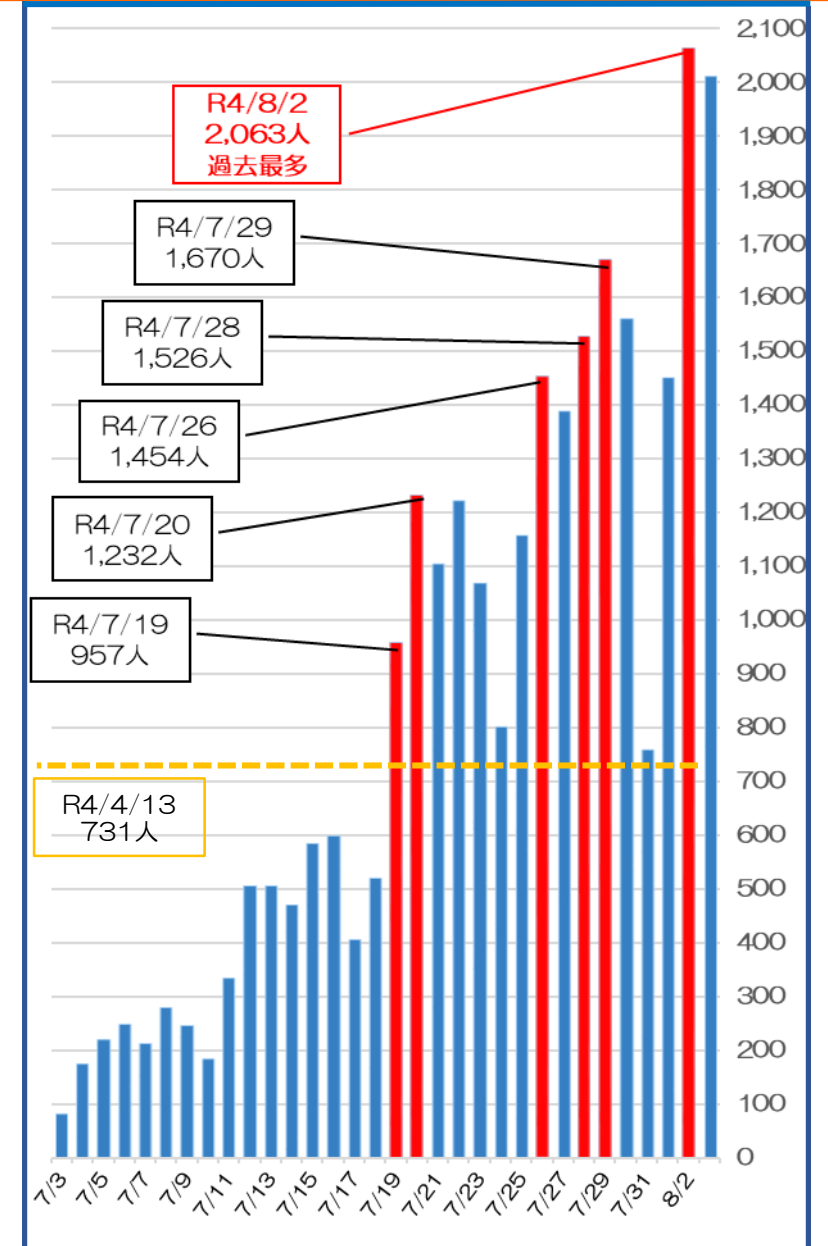
過去最多

数字

前週より新規陽性者数が多い日（1倍以上2倍未満）

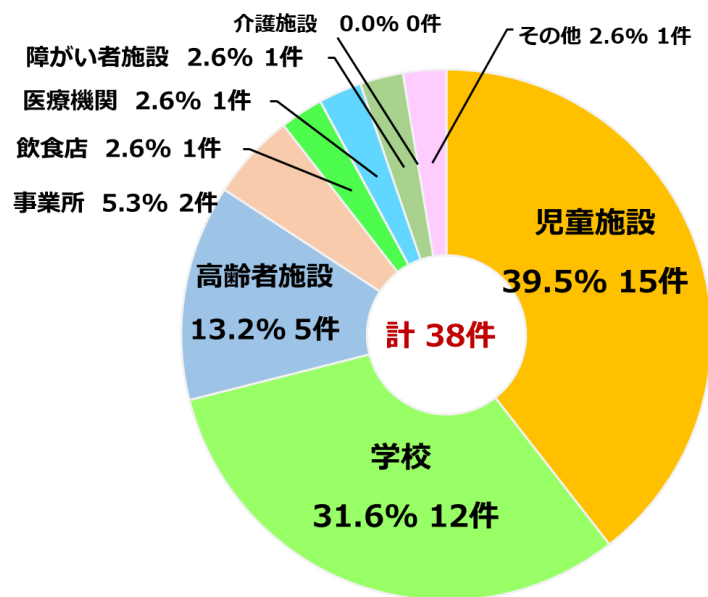
数字

前週より新規陽性者数が多い日（2倍以上）

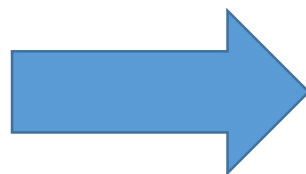


7月のクラスターの発生が急増しています。 6月と比較して様々な場所で発生しています。

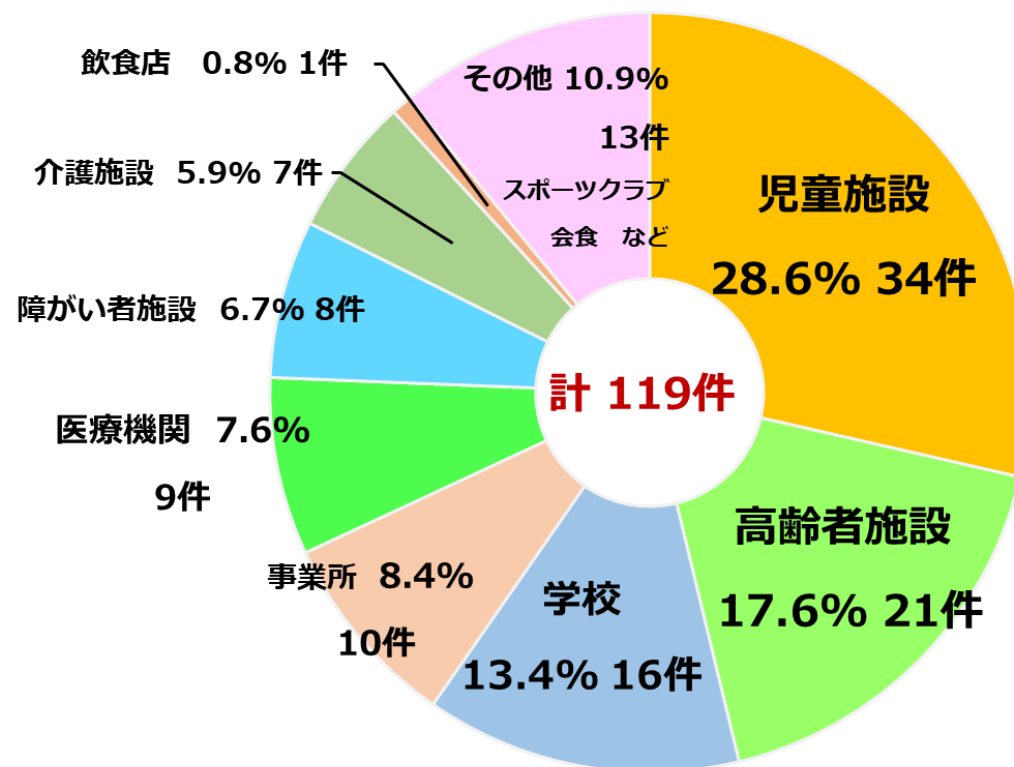
県内のクラスター発生状況（6月）



313%



県内のクラスター発生状況（7月）



基本的な感染対策の徹底と、感染を広げない行動が重要！

感染拡大により医療体制への負荷が高まっています

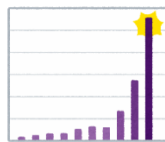
県内では、多くの医療機関が新型コロナウイルス感染症に関する診療・検査や受入医療機関として、発熱患者及び陽性患者等に対応していますが、感染者増により、コロナ患者の対応以外にも負荷が高まっています。



コロナ患者の急増に伴う直接的な負担増

- ・感染者の急増により、外来・入院の負担増
- ・院内感染による他医療機関のコロナ患者受入停止に伴う負担増

病床使用率（8/1時点）45.1%



患者の増

患者の増

コロナ患者以外の患者増

- ・がんや心疾患など、命に関わる医療の継続
- ・猛暑による熱中症の増
- ・院内感染による他医療機関の患者受入停止に伴う負担増



救急搬送困難事案件数（7/25～7/31） 前年度比188%

地域医療への負荷の増大

スタッフの減

スタッフの減

院内感染によるスタッフの減



地域の感染拡大により院外からの持ち込みリスクが増加。院内感染が生じることで職員が感染し、外来・病棟等の従事者減

コロナに関連して休んでいる医療従事者数（7/1～7/31）
前月比405%（G-MIS調べ）

家族の感染によるスタッフの減



家族が感染することにより、職員が濃厚接触者や陽性者となり、外来・病棟等の従事者減

コロナに関連して休んでいる医療従事者数（7/1～7/31）
前月比405%（G-MIS調べ）

必要な医療が受けられなくなることに！

〔 手術の制限、外来の制限、救急医療の制限、コロナ診療の制限等 〕



医療を守る対策の強化

- 医療機関(救急外来等)の利用の適正化
 - ・通常の診療時間内に受診しましょう
 - ・検査のためだけの受診はお控えください
- ワクチン接種の推進(医療従事者・小児接種)



感染拡大警報の取組強化

お盆の時期を迎え、親戚など普段会わない人と会う機会が増えます。

- 改めて、「基本的な感染対策の再点検と徹底」、「移動時の感染対策」などをお願いします。

医療機関（救急外来等）の利用の適正化

医療を守る対策の強化

感染拡大により、検査のために受診する軽症の患者が増加しており、コロナ医療・一般医療に影響が出ています。特に、夜間や休日の救急外来は、緊急の入院や手術など重症の患者さんを受け入れるための外来となりますので、検査のためだけの救急外来受診はお控えください。

通常の診療時間内に受診しましょう

○体調が悪いとき

かかりつけ医や診療・検査医療機関に相談するなど、**通常の診療時間に受診**してください。

なお、**重症化リスクの高い方や緊急性が高い症状がある場合には、夜間や休日にかかわらず速やかに受診願います。**

○夜間や休日に受診を迷われるとき

コロナに関しては受診・相談センター、その他症状に関しては夜間救急電話相談をご利用ください。

福島県受診・相談センター 0120-567-747（毎日24時間）

夜間救急電話相談 #7799（毎日19時～翌朝8時）

こども救急ダイヤル

#8000（毎日19時～翌朝8時）

検査のためだけの受診はお控えください

○重症化リスクが低く、軽症の方

（濃厚接触者または症状のある方）

抗原定性検査キットの配布をご利用ください。

抗原定性検査キットの配布

【実施期間】 令和4年7月29日～10月31日

【申込先】 福島県新型コロナウイルス検査キット配布センター

Web（24時間受付）または電話でお申し込みください。

0120-941-546（毎日9時～19時）



無料検査

【実施期間】 令和4年8月31日まで

【問合せ先】 福島県ワクチン・検査活用事務局コールセンター

024-524-5530

（月曜日～土曜日（祝日・年末年始を除く）9時～17時）

○無症状の方で感染に不安がある方

積極的に無料検査をご利用ください。

ワクチン接種の推進（医療従事者・小児接種）

ワクチン接種には、発症や重症化を予防する効果が確認されています。

○4回目接種は**医療従事者等も接種の対象者**となりましたので、
お済でない方は**速やかな接種**をお願いします。

○**小児接種**についても御家庭で話し合うなど御検討ください。

移動時は感染リスクが高まります

移動する時は、ご自身の体調管理や、移動先の感染情報把握などを含め、感染防止対策を徹底してください。

楽しい旅行や帰省等にするためにも、危機感を持って、慎重な行動をお願いします。

移動時の
注意喚起

- 移動先の感染情報を把握し、
混雑する場所や感染リスクの高い場所は十分注意を
- 移動中の感染リスクに注意し、車内でも
マスクの正しい着用や換気を行う等
基本的対策を徹底



帰省等の前には無料検査を

感染に不安のある県民の方や、帰省等で地元の高齢の親族の方と接する予定の方等を対象に、無料で検査が受けられる機会を提供しています。積極的にご活用ください。

検査の
さらなる活用

○ 臨時無料検査拠点

期間 8月6日(土)～8月16日(火)

場所 JR福島駅西口広場、JR郡山駅東西自由通路



○ この臨時検査拠点のほか、**県内207箇所の薬局**等で無料検査を実施しています。

※いずれも対象は**無症状の方**に限ります。

濃厚接触者または症状がある方には、抗原定性検査キットを無償で配布します。【申込先】福島県新型コロナ検査キット配布センター

注意

福島県感染拡大警報



令和4年7月20日 福島県新型コロナウイルス感染症対策本部

県内の感染者数が急激に増加しており、本日の感染者が過去最多を更新しました。

夏休みが始まり、多くの人と接する機会が増えます。熱中症にも注意しながら、危機感を持って、感染対策を徹底しましょう。

- 1 基本的な感染対策の再点検と徹底
- 2 陽性になった場合の備え
- 3 速やかなワクチン接種
- 4 検査のさらなる活用
- 5 効果的な換気
- 6 移動時の注意喚起
- 7 子どもと高齢者の感染対策
- 8 医療を守る対策

①

基本的な
感染対策の
再点検と徹底

○ 場面に応じてマスクを正しく着用、感染リスクの高い場面（3密や混雑、大声を出す）を避ける等の対策の再点検



○ のどの痛み、せき、発熱などの症状がある場合は、外出を控え、早めに受診



○ 体調不良時（症状がある場合）は、会食やイベントに参加しない



②

陽性になった
場合の備え

○ 生活動線をどのように分けるかを事前に検討



○ 数日間分の食料や薬、消毒用品などのストック



③

速やかな
ワクチン接種

発症予防・重症化予防の観点から、ワクチン接種が済んでいない方は、速やかな接種を検討



④

検査の
さらなる活用

感染不安のある方や、
帰省等でご高齢の方と面会する予定のある方は、
積極的に無料検査を活用



⑤

効果的な換気

- **必要な換気量の確保**
(機械換気による常時換気、2方向の窓開け換気等)
- 感染を防ぐための**空気の流れの配慮**
(十分な外気の取り入れ・排気により、
空気よどみを解消。
空気の流れに対して平行なパーティション配置等)
- 定期的な**機械換気装置の点検やフィルタ清掃等**



⑥

移動時の
注意喚起

- **移動先の感染情報を把握し、混雑する場所や感染リスクの高い場所は十分注意を**
- **移動中の感染リスクに注意し、車内でもマスクの正しい着用や換気を行う**等基本的対策を徹底

7

子どもと
高齢者の
感染対策

- 家庭における検温を始めとする体調確認
- 部活動や放課後児童クラブ等における感染防止対策の徹底
- 高齢の方や基礎疾患のある方の感染リスクの高い行動を控えること、周囲の方も感染させない行動を取ることを徹底
- 高齢者施設や児童福祉施設等においては、利用者・職員が感染対策を徹底し、感染拡大を防止

8

医療を守る
対策

- 医療機関における感染拡大は、医療体制のひっ迫につながる恐れがあるため、医療従事者等に感染を広げない行動を取ることを徹底

感染拡大防止のための基本対策

令和4年6月9日改定 福島県新型コロナウイルス感染症対策本部

1 一人ひとり **基本的な感染対策**を**徹底**してください。



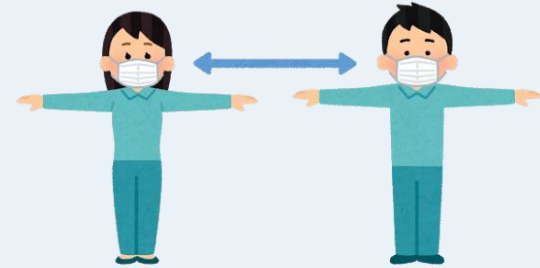
場面に応じて
マスクを正しく着用※
しましょう。
(**不織布マスクを推奨**)



**こまめな手洗い、
手指消毒**を徹底
しましょう。



窓を開けるなどして、
**こまめな（できれば常
時）換気**をしましょう。



人と人の距離は、
できるだけ**2m**
取りましょう。

・ **高齢の方や、基礎疾患のある方は、
感染リスクの高い行動は控えましょう。**



・ **家庭から感染が広がらないよう取り組みましょう。**

・ **同居するご家族が、濃厚接触者と判明した日から
数日程度、出勤等を控えるなどの検討をしましょう。**



2

**症状がある場合は登校・出勤を控え、
早めに受診してください。**



※発熱やのどの痛みなど少しでも症状がある場合、
早めに受診することが大切です。

かかりつけ医や診療検査医療機関※に相談してください。

※県ホームページで検索できます

福島県 診療検査医療機関

検索Q

相談先に迷う場合は受診・相談センター(Tel0120-567-747)へ

3

会食時は、感染リスクが高まることから、
以下に十分注意してください。

(テーブル間の距離もしっかり確保してください。)

控えてください！



体調不良で参加



大声やマスク
なしでの会話



深酒・長時間



テーブル間の移動

・感染対策の徹底された飲食店を利用してください。

※ お店側は「業種別ガイドライン」の遵守など、お店側と利用する側、
双方が感染防止対策を徹底することが大切です。

「ふくしま感染防止対策認定店」
をおすすめします！

感染防止ステッカー配布済飲食店を調査し、適切な感染防止対策を
確認した店舗に対し、認定ステッカーを交付しています。



4

**旅行や帰省等、移動する時は、
ご自身の体調管理や、
移動先の感染情報把握などを含め、
感染防止対策をお願いします。**



出発前に確認！



県内及び各都道府県の外出自粛等の
行動制限の状況は、県HPで確認できます。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/covid19-portal/>

福島県 新型コロナポータル

検索



5

新型コロナワクチンの接種を検討してください。

- ・ ワクチン接種後も、基本対策を徹底し、
「うつさない」「うつらない」行動をお願いします。



事業者の皆さまにお願いします

- ・ **職場内の感染防止対策**を徹底してください。
 - 従業員等の**手指消毒**や**マスク着用**の徹底、職場内の**消毒**や**換気**など、職場内の感染防止対策を徹底してください。
 - 従業員等の**出勤時の健康チェック**を徹底してください。
 - 休憩中や休憩室・更衣室の利用時、電話時、昼食中などで**居場所の切り替わり**に**注意**してください。
- ・ **ローテーション勤務**や**時差出勤**、**テレワーク**、**オンライン会議**等を活用し、**人との接触機会の低減**にご協力ください。
- ・ **事業継続計画（BCP）の再確認**や**策定**をお願いします。
- ・ **業種別ガイドライン等**を遵守願います。
(法第24条第9項に基づく要請)

イベント等を開催する事業者の皆さまにお願いします

- ・ イベント等の開催にあたっては、規模にかかわらず、以下の**感染防止対策を徹底**してください。

- 「三つの密」が発生しない席の配置
- 出演者や参加者等に係る行動管理
- 会場内の消毒や換気 など
- 人と人との距離の確保
- 正しいマスクの着用

イベントの開催

- ・ **5,000人超かつ収容率50%超のイベントを実施**する場合は、**「感染防止安全計画」**を開催2週間前までに提出してください。
- ・ 上記イベント開催後は**「結果報告書」**を提出してください。
- ・ 上記以外のイベントについては、イベント主催者において感染防止策チェックリストを作成し、ホームページ等での公表をお願いします。

※ワクチン・検査パッケージの適用、対象者全員検査は実施しません

※大声ありのイベント 観客等が通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発することを積極的に推奨する、または必要な対策を十分に施さないイベント

【感染防止安全計画の提出先：県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局】

電話：024-521-8644（受付時間9時～17時）

mail：corona-event@pref.fukushima.lg.jp

詳しくは、県HPを参照してください。 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/covid19-portal/>

(3)まん延防止

1)感染拡大防止対策等

①全般的な取組			
19	R2/6/17	・ 接待を伴う飲食店等の関係団体が定めた感染拡大予防ガイドライン等を公表	対策本部、危機管理部
20	R2/9/11	・ 「福島県飲食業等における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づく感染防止対策が実施されている飲食店等に対してステッカーを配布することで、県民に対する正しい情報提供を図り、飲食店等の自主的な感染防止対策の実施を推進する。	保健福祉部
21	R2/10/23	・ 県外旅行ツアーでの感染事案発生を受け、県内旅行者及び宿泊事業者に対し、「感染防止対策の徹底について(依頼)」を発出し、観光庁事務連絡の周知と併せ、感染防止対策の徹底を働きかけた。	観光交流局
22	R2/11/19	・ 県有施設における大規模イベント等の取扱いを公表	対策本部、危機管理部
23	R2/11/20	・ 市町村観光主管課、福島県観光物産交流協会、県内旅行者、福島県旅行業協会に対し、「GoToトラベルにおける感染防止対策の強化について(通知)」を発出し、本県における取扱いについて周知及び周知依頼を実施した。(内容:バス車内での飲食禁止、飲食について現時点で人数制限なし)	観光交流局
24	R2/12/9	・ 庁内各部局、各市町村等に対し、「飲食店などにおける業種別ガイドラインの周知及び遵守の徹底について(通知)」を発出し、関係団体に対して業種別ガイドラインの改正内容の確認と遵守の徹底について周知依頼を実施	対策本部
25	R2/12/11	・ 新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大や福島市内の飲食店のクラスター発生を踏まえ、県が実施している「飲食店応援前払利用券」の参加店舗に対して、商工会連合会等を通じて感染拡大防止対策の徹底を改めて通知した。	商工労働部
26	R2/12/14～	・ 感染防止対策取組ステッカーの配布施設に対する現地調査を先行して福島市内で実施。	保健福祉部
27	R3/2/15～	・ 高齢者施設・障がい者(児)施設において、感染防止対策の再確認とチェックリストに基づく自主点検を依頼し、保健師等の訪問による助言指導を実施。	保健福祉部
28	R3/2/26～	・ 福島市、郡山市、いわき市及び会津若松市の繁華街の飲食店を対象としたガイドラインの実施状況を確認。	保健福祉部
29	R3/3/1	・ 高齢者施設でのクラスター発生を踏まえ、職員一人一人がチェックリストに基づく自主点検を実施することや感染症発生時のシミュレーションを確認することなど改めて感染防止対策の徹底を依頼。	保健福祉部
30	R3/3/2	・ 市町村向け新型コロナウイルス感染症に係る予防接種実施計画作成支援マニュアル(Ver1.0)を市町村・関係団体へ配布	対策本部
31	R3/3/3	・ 医療機関でのクラスター発生を踏まえ、医療機関に対して、院内感染対策の徹底を依頼。	保健福祉部
32	R3/4/8	・ 感染防止対策取組ステッカー配布済飲食店を調査し、適切な感染防止対策を確認した店舗に認定ステッカーを交付する「ふくしま感染防止対策認定店」制度を開始	保健福祉部
33	R3/5/10～	・ 感染拡大地域における入所系の高齢者施設等の従事者に対するPCR検査を実施。	対策本部
34	R3/11/25	・ 5,000人超かつ収容人数50%以上のイベントの開催に伴う感染防止安全計画の受付を開始	対策本部
35	R3/12/27	・ ワクチン・検査パッケージ活用等に必要となる検査開始	対策本部
36	R4/1/3	・ 隣接県における変異株の市中感染を踏まえた無料検査の実施(～令和4年8月31日) ※7/20延長決定(7/31→8/31) 「ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業」による無料検査(「県民割」等の旅行、イベント参加の際に必要な検査)は令和4年8月31日まで	対策本部

37	R4/5/13	・市町村に対し、子どもの感染拡大防止重点対策に伴う児童関連施設における感染症対策の徹底(家庭内・施設内)を依頼する文書を発出。	こども未来局
38	R4/6/9	・福島県新型コロナウイルス感染拡大防止対策を改定	対策本部
39	R4/6/13	・「子どもの感染拡大防止重点対策」の終了に伴い、「感染拡大防止のための基本対策」に移行	対策本部
40	R4/7/20	・福島県感染拡大警報発出	対策本部
41	R4/7/21	・市町村に対し、「福島県感染拡大警報」に伴う児童関連施設における感染症対策の徹底(家庭内・施設内)を依頼する文書を発出。	こども未来局
42	R4/7/21	・児童福祉施設等に対し、感染症対策の徹底を依頼する文書を発出。	こども未来局
43	R4/7/29	・児童福祉施設等に対し、オミクロン株の特徴を踏まえた濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施方針を知らせる文書を発出。	こども未来局
44		・医療機関に対する医療資材の配布、福祉施設に対するマスク・消毒液の配布を実施	対策本部、保健福祉部、こども未来局

(4) 医療等

1) 相談体制

45	R2/2/18	・新型コロナウイルスに関する心のケアについての、精神保健福祉センターにて相談を受ける体制を整備	対策本部、保健福祉部
46		・外国人住民が帰国者接触者相談センター等に相談する際、3者同時通話(電話)による通訳支援を実施(英語中国語タガログ語ポルトガル語韓国語ベトナム語に対応)	対策本部、保健福祉部
47	R2/5/25	・新型コロナウイルス感染症相談専用ダイヤル(コールセンター)等の回線数を増設。 ・相談専用ダイヤル(コールセンター):5回線 ・帰国者・接触者相談センター:15回線 ※21:00~8:30は4回線	対策本部、保健福祉部
48	R2/11/1~	・「帰国者・接触者相談センター」を、インフルエンザ流行に備えた体制整備のため、「受診・相談センター」に名称変更	対策本部、保健福祉部
49	R3/1/18~	・19言語対応の外国人住民向け電話相談窓口をLINE通話でも活用できるように拡充・整備。	生活環境部
50	R3/4/28~	・受診・相談センターへの電話、通訳支援を実施する外国人住民向け電話相談窓口について、ヒンディー語を加えた20言語対応に拡充	生活環境部

2) 外来医療提供体制

51	R3/2/24~	・県内の帰国者・接触者外来の設置数48	対策本部
52	R3/11/1~	・県内の地域外来の設置数19(うち県委託16)	対策本部
53	R4/7/11	・発熱患者等の診療または検査を行う「診療・検査医療機関」として、620機関を指定	対策本部

3) 検査体制

54	R2/9/1~	・妊婦に対するPCR検査への助成開始	こども未来局
55	R4/5/20~	・県内の一日あたりのPCR等検査能力は通常最大時で11,500検体	対策本部、保健福祉部
56	R4/7/11	・新型コロナウイルス感染症の検査を実施する一般の診療所等と県等が、県医師会を代理人として令和2年9月8日に締結した、保険診療の患者負担金に係る集合契約施設、及びこれまでに個別に契約した医療機関が662となった。	保健福祉部

4) 病床等確保と入院患者受入体制

57	R2/4/1～	・ 県立医大医師を患者搬送コーディネーターに委嘱。新型コロナウイルス感染者の病院への移送、受入について、対策本部と協力して調整を実施	対策本部、保健福祉部
58	R2/4/7～	・ 対策本部内にDMAT班を設け、新型コロナウイルス感染者受け入れ施設の調整や受け入れ施設における医療従事者向けの対応マニュアル作成などを実施	対策本部、保健福祉部
59	R2/5/26	・ 医療機関における感染症拡大防止のため、感染症管理認定看護師等を派遣する感染症拡大防止専門家派遣事業を運用開始	対策本部、保健福祉部
60	R3/12/10	・ 保健・医療提供体制確保計画に基づく病床等を確保 病床: 通常時最大709床(計画上650床) 緊急時最大799床(計画上750床) 宿泊療養施設: 最大室数603室(計画上600室) 入院待機ステーション: 2施設(いわき市・郡山市(追加))	対策本部、保健福祉部
61	R4/3/25	・ 宿泊療養施設の稼働室数1,547室	対策本部
62	R4/7/22	・ 保健・医療提供体制確保計画に基づく病床等を見直し 病床: 即応病床 728床 通常時最大 749床 緊急時最大 821床	対策本部、保健福祉部

5) 患者受入・移送体制

63	R2/6/11	・ 新型コロナウイルス感染患者の移送に関して、今後の感染拡大を想定し、全県統一して広域的・安定的な移送体制を確保するため、県内の全9保健所と全12消防機関とが包括的な協定を締結	対策本部、保健福祉部
----	---------	--	------------

6) 医療人材の確保

64	R2/5/26	・ [再掲] 医療機関における感染症拡大防止のため、感染症管理認定看護師等を派遣する感染症拡大防止専門家派遣事業を運用開始	対策本部、保健福祉部
----	---------	---	------------

7) 診療情報の共有

65	R2/4/30	・ 「キビタンケアネット」による新型コロナウイルス感染患者の入退院状況等の共有を開始	対策本部、保健福祉部
66	R2/5/14	・ 「キビタン健康ネット」による新型コロナウイルス感染患者の診療情報共有(特例包括対応)の運用を開始	対策本部、保健福祉部

(5) 経済・産業・雇用対策

① 企業への経営支援等

67	R2/3/5	・ 県中小企業制度資金「新型コロナウイルス対策特別資金」を創設し、資金繰り支援を強化	商工労働部
68	R2/7/9～	・ 活力ある商店街支援事業(新型コロナウイルス対応)を実施 (新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな店舗が必要になったり、新しい生活様式に対応するための店舗拡大などに商店街の空き店舗を活用した場合にその取組に係る賃借料の一部を補助)	商工労働部

69	R4/3/25	・福島県内在住者を対象とする福島県内に1泊以上宿泊する商品を対象とした宿泊割引事業「県民割プラス」の予約受付を開始。	観光交流局
	R4/3/30	・県民割の対象範囲を拡大し、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、新潟県内在住者を対象に加えた予約受付を開始	
	R4/5/6	・県民割の実施期間を延長するとともに、対象範囲を拡大し、新たに北海道、青森県、茨城県、栃木県、群馬県を対象に加えた予約受付を開始	
	R4/7/14	・県民割の実施期間を延長し8/31宿泊分までの予約受付を開始。(宿泊対象期間:7/15チェックイン～9/1チェックアウト)	
70	R3/11/1～	・ふくしま飲食店応援事業「オールふくしま食べて応援キャンペーン」利用期限延長(令和4年8月31日まで)	商工労働部
	R4/5/18、 6/15、7/13	・ふくしま飲食店応援事業「オールふくしま食べて応援キャンペーン」食事券追加販売	
71	R4/6/1	・新型コロナウイルス感染症対策特別資金(有利子型)及び伴走支援型特別資金(新型コロナに係るもの)の取扱期間の延長(令和4年11月30日融資実行分まで)	商工労働部
②世帯への貸付制度等			
72	R2/3/25	・新型コロナウイルス感染症発生の影響による休業や失業等により、一時的に収入が減少した世帯を対象に、生活福祉資金貸付制度の福祉資金(緊急小口資金)及び総合支援資金(生活支援費)について特例貸付の受付を開始	保健福祉部
73	R2/4/20～	・生活困窮者自立支援法に基づく住居確保給付金について、支給対象を拡充し、住居を失うおそれが生じている方への支援を拡大	保健福祉部
③相談体制			
74	R2/1/29	・商工団体などの関係機関が開設した相談窓口における事業者の経営相談に連携協力。(県内各商工会議所、商工会連合会、中小企業団体中央会、よろず支援拠点、日本政策金融公庫、商工中金、信用保証協会が窓口を設置。)	商工労働部
75	常設	・福島県中小企業労働相談所(雇用労政課内)にて、雇用関係の各種相談に対応	商工労働部
76	R2/3/3	・県との災害対策協定に基づき、社会保険労務士会内に電話相談ホットラインを開設	商工労働部
77	R2/2/14～	・福島労働局が開設した特別労働相談室と連携	商工労働部
78	常設	・東京及び県内8カ所に設置する県就職相談窓口において、学生及び求職者の活動を支援	商工労働部
④農林漁業者への対応等			
79	R2/4/21	・新型コロナウイルス感染症対策に関する農林水産分野の県相談窓口を本庁及び出先機関に設置	農林水産部
80	R2/4/21	・「新型コロナウイルス感染症対策に関する農林水産分野支援等情報」を県ホームページで定期的に更新	農林水産部
81	R3/4/1～	・新型コロナウイルス感染症の影響で、中食・外食向け米の販売量が減少し、前年に比べ民間の米の在庫量が増加することに伴い、令和2年産米に続き、令和3年産米の価格下落が懸念されていることから、令和3年産の主食用米を飼料用米等の非主食用米への作付の転換を推進する。	農林水産部
82	R3/10/8	・新型コロナウイルス感染症の影響により減収した農業者が令和3年又は令和4年の収入保険に新規加入する際の保険料の一部に対して補助金を交付する。	農林水産部
83	R3/10/9～	・新型コロナウイルス感染症の影響で中食・外食向け県産米の販売量が減少し、米の在庫量が増加していることから、県内量販店での販売キャンペーンを実施し、県産米の需要拡大と在庫量の解消を図る。	農林水産部
84	R3/10/11～	・新型コロナウイルス感染症による飲食事業者の休業等に伴い、県産農林水産物の外食需要が低迷し影響を受けている事業者があることから、コロナ禍でも売上好調なオンラインストアへの出店を支援し、事業者の販売力強化を図る。	農林水産部

(6) その他重要な留意事項

1) 人権等への配慮

85	常設	・ 児童生徒に対するスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによるカウンセリング等や「ふくしま24時間子どもSOS」や「ふくしま子どもLINE相談」等の相談窓口を活用	教育庁
86	R2/4/17～	・ 陽性患者やその関係者に加え、医療従事者などへの差別や偏見をしないよう呼びかけ	対策本部
87	R2/9/9	・ 新型コロナウイルス感染症に関する誹謗中傷等被害の電話相談窓口を設置	対策本部
88	R2/10/7	・ インターネット、新聞、テレビ、ラジオ等各種メディアを活用し、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う誹謗中傷を防止するための啓発事業を実施。	生活環境部
89	R3/7/21	・ 新型コロナウイルス感染症対策本部員会議におけるシトラスリボンの着用	対策本部
90	R3/9/15	・ インターネットを活用し、新型コロナウイルス感染症に関連する誹謗中傷を防止するための啓発事業を拡大して実施。「ゆたかくんところちゃんの思いやり物語」で人権侵害の具体的な事例を取り上げた4コマ漫画を月1回配信予定)	生活環境部
91	R4/2/8	・ 「優しさは、心を結ぶ。」において、改めて新型コロナウイルス感染症に関する誹謗中傷等防止の呼びかけを実施。	生活環境部

2) 緊急事態宣言後の取組み

92	R4/6/9	・ [再掲]福島県新型コロナウイルス感染拡大防止対策を改定	対策本部
----	--------	-------------------------------	------

3) 社会機能の維持と県民生活・県民経済の安定

93	R4/6/9	・ [再掲]福島県新型コロナウイルス感染拡大防止対策を改定	対策本部
----	--------	-------------------------------	------

2 各部署の取組

(継続中の取組及び前回本部員会議以降に実施した取組の概要)

※ 太枠：前回本部員会議以降に実施した取組

◆ 総務部

- 福島県非常事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除されてからも県職員の感染が続き、県出先機関において15名の感染が確認されるとともにクラスターに認定されるなど、感染爆発を警戒すべき情報が続いているため、3月7日以降も「オールふくしま感染防止対策点検キャンペーン」及び「感染防止重点対策」であることを踏まえ、決して気を緩めず、いまだ第6波のまっただ中にいるという危機意識を持ち続けるよう、職員への注意喚起と職場等における感染症対策の更なる強化について通知。(R4/3/9)
- 子どもの感染拡大防止重点対策が終了し、基本対策に移行したことを踏まえ、以下の内容を各所属に通知。
 - ・在宅勤務等の積極的な活用
 - ・職員の健康管理の徹底とサービスの取扱い
 - ・職務外においても基本的な感染対策を徹底すること(R4/6/13)
- 新型コロナウイルス感染防止に向けたワクチン接種に伴う職員のサービスの取扱い(接種を受ける場合、副反応が生じた場合)について各所属に通知。(R3/5/31)

◆ 企画調整部

- 「都道府県・指定都市と総務省とのホットライン」(都道府県・指定都市と総務省との間で情報共有を図る仕組み)に、県の現状・対策、具体的な課題、政府への要望事項を報告

◆ 保健福祉部

- 高齢者等施設等で働く介護職員が感染し、出勤が困難となった際のサービス提供継続に資するため、「高齢者等施設等への応援職員派遣支援事業」を立ち上げ、県老人福祉施設協議会へ委託

◆ こども未来局

- 市町村に対し、夏休み中における放課後児童クラブ等での感染症対策の徹底(学校との連携・熱中症への対応)を依頼する文書を発出。(R4/7/11)
- 市町村に対し、新型コロナウイルス感染症に係る濃厚接触者の待機期間及び健康観察の重点化について通知する文書を発出。(R4/7/29)

◆ 観光交流局

- 福島空港利用者がサーモグラフィで自己検温できる体制を整備(出発、到着とも対応可)
- 浄土平レストハウス、天鏡閣、福島県観光物産館、日本橋ふくしま館、くろがね小屋利用者がサーモグラフィで自己検温できる体制を整備

- 観光庁の補助制度を活用した、宿泊事業者が実施する感染拡大防止対策等の取組への補助制度「宿泊事業者感染防止対策等緊急支援事業」の立ち上げ（R3/5/21令和3年度第5号補正専決処分）
- 県内旅行者、福島県旅行業協会、福島県観光物産交流協会、県内観光協会、ビッグパレットふくしま、民泊事業者、福島空港、日本橋ふくしま館、福島県旅館ホテル生活衛生同業組合に対し、県通知「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」について周知。
- 観光庁「外国人観光客の受入れ対応に関するガイドライン」に基づく、本県における「陽性者発生時を含む緊急時の対応」をとりまとめ、コロナ本部と調整の上、ホームページに掲載。（R4/6/27）

◆ 土木部

(1) 県有施設関係

- 相馬港及び小名浜港において、緊急事態宣言解除に伴い、釣り施設の利用自粛及び緑地内の公園にある遊具の利用を禁止するための看板を「3つの密を避けましょう」の掲示に変更（R2/5/22～）

(2) その他

- 福島空港に就航する国内定期及びチャーター便の航空機使用者を対象に、令和2年度及び令和3年度分に係る空港使用料の全額減免を行うこととした。（令和2年9月議会福島空港条例改正）
- 県営住宅入居者のうち、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、転職、退職等により、収入が著しく減少した入居者又は現状の家賃が支払うことが困難であると認められる入居者の家賃を減免・徴収猶予
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、解雇等により住居から退去を余儀なくされた方に、県営住宅の空き住戸を一時提供
使用期間：原則6ヶ月
使用料：一時提供する住戸で定められた最低家賃の1/2の額
- 発注者支援業務等で県出先事務所に常駐している担当者のテレワーク活用を可能にし、関係団体に情報提供した。（R2/12/23）

◆ 出納局

- 物品購入(修繕)競争入札参加資格の申請方法について、申請書を持参する取扱のところをすべての事業者に対して郵送を可とした(R2/4/6～)

◆ 教育庁

- 県立学校や県立図書館、美術館などの社会教育施設等における感染拡大防止の取組の徹底

◆ 企業局

- 工業用水道施設における感染防止対策の取組徹底（消毒液の設置、来庁者のマスク着用の徹底、関係者以外の立入制限など）
- 工業用水道料金の支払いについて、支払いに支障が生じている使用者の申請に基づき、令和2年4月分から最長3カ月間猶予

◆ 病院局

(1) 県立病院

- 感染が疑われる患者が来院した場合には、入り口や動線を区分し、他の患者等との接触を防止
- 職員や面会者を介した院内感染防止対策の強化
 - ・職員：勤務前に検温を実施（R2/3/6～）
 - ・面会者：入院患者への面会の禁止・制限（R2/3/9～）
- 院内感染対策委員会を随時開催し、最新情報に基づく適切な院内感染対策を実施
- 各病院におけるマスク等の在庫状況を病院局で定期的に確認し、不足する病院があれば、病院間で在庫を調整（R2/3/11～）
- 各県立病院における外来患者来院時の感染拡大防止策の見直しを実施（R2/4/17～）

◆ 議会事務局

- 議員の登庁前検温等の体調チェックの実施、発熱・咳等の風邪症状がある場合の登庁自粛及び登庁時のマスク着用の徹底（R2/4/16～）

◆ 警察本部

(1) 県民向け対策

- 警察施設における感染防止対策（消毒液の設置、ドアノブ等のアルコール除菌清掃、ビニールカーテン等仕切り導入等）
- 繁華街におけるパトロールの強化
- 来庁時の感染防止、新型コロナウイルス感染症に便乗した関連犯罪被害防止の広報（県警ホームページ、新聞、テレビを通じた広報を実施）

(2) 勤務体制

- サテライトオフィスの運用（執務室の分散による感染拡大防止対策）→6月末日をもって中止

◆ 知事部局、教育庁、企業局、病院局、議会事務局、人事委員会事務局、県警察、監査委員事務局、労働委員会事務局

- 在宅勤務、時差出勤、職員の体温測定等の実施